



《将来に向けた取組方針》

日本化学工業グループは、企業理念及びサステナビリティ方針を受け、生物多様性に配慮した事業活動を推進します。バリューチェーン全体を通して、当社グループの事業活動が生物多様性に及ぼす影響を把握し、それを最小限に抑えることに継続的に取組みます。

レスポンスブル・ケア活動を通じて、社員一人ひとりの生物多様性に対する意識向上に努めます。また、社会や地域の皆様から高い評価が得られる様、生物多様性保全に寄与する社会貢献活動を継続していきます。以上の取り組みを積極的に開示し、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めます。

〈具体的取組み事例〉

1. 地域環境保全活動

本社・各工場：近隣の生態系を保全するため、隣接する地域の清掃活動に定期的に参加しています。

2. 森林保全活動

徳山工場：「まちと森と水の交流会（周南市）」では森林保全活動に参加し、森林の持つ水源かん養機能や地球温暖化防止機能などについて学んでいます。

〈社会へ向けたメッセージ〉

人と地球上のあらゆる生物が共生する環境を維持していくために、地域と一体となった生物多様性保全活動を計画・推進していきます。



福島第二工場「さくらの里クリーンアップ作戦」



愛知工場「水辺クリーンアップ大作戦」



徳山工場「まちと森と水の交流会」

